

沿革

- 平成 27 年 (2016 年) 第二工機工場 (ステンレスモール金型製作専用工場) 新設
- 平成 26 年 (2014 年) 青木竹宏 代表取締役会長に就任、青木宏樹 代表取締役社長に就任
- 平成 24 年 (2012 年) 浦和工場を狭山工場へ移転
電源機器事業 撤退
- 平成 22 年 (2010 年) 中華人民共和国広東省に東莞青木電器有限公司を設立
- 平成 20 年 (2008 年) 北工場 (ステンレスモール専用工場) 新設。
環境事業をチツソ環境エンジニアリング株式会社に営業譲渡
本社登記を埼玉県入間市に変更
システムパーツ事業 撤退
- 平成 19 年 (2007 年) 生産本部を設置 (事業部制を廃止) し、生産部門を一本化
応用機器事業 (松下電池工業) 撤退
- 平成 18 年 (2006 年) 本社機能を高田馬場から狭山工場に移転
- 平成 14 年 (2002 年) ISO:9001 狭山工場 取得
ISO:14001 狭山工場 取得
- 平成 09 年 (1997 年) 懐中電灯、海外委託 (インドネシア) 生産開始
- 平成 05 年 (1993 年) 本社、本社工場を高田馬場へ移転
- 平成 02 年 (1990 年) ISO: 9002 本社工場 (電源装置) 取得
- 昭和 63 年 (1988 年) 社長に青木竹宏就任
- 昭和 60 年 (1985 年) 狭山工場敷地を拡張、自動車部門専門工場を開設
- 昭和 59 年 (1984 年) 土壌微生物応用技術による環境事業 (排水処理プラント事業) を開始
- 昭和 55 年 (1980 年) エレクトロニクス分野に進出。生産開始
- 昭和 54 年 (1979 年) 埼玉県浦和市に自動車専門工場を新設
- 昭和 50 年 (1975 年) National懐中電灯1億本生産達成
- 昭和 48 年 (1973 年) 創業者 青木神木 (あおきささき) 社長逝去により社長に東國徳
(松下電器産業株式会社副社長)、副社長に青木竹宏が就任
- 昭和 47 年 (1972 年) 子会社である青木金属工業株式会社を吸収合併、金属事業を設立
- 昭和 43 年 (1968 年) 埼玉県入間市武蔵工業団地に埼玉工場 (現本社・狭山工場) を建設
- 昭和 38 年 (1963 年) 子会社である株式会社市川製作所を青木金属工業株式会社に社名変更
- 昭和 36 年 (1961 年) 有限会社杉並鉄工を吸収合併。青木電器工業(株)鉄工部
(杉並工場) 設立
- 昭和 35 年 (1960 年) 市川製作所より経営譲渡。自動車部品事業に着手。
- 昭和 27 年 (1952 年) JIS 規格携帯電灯業界第1号表示認可工場となる
- 昭和 26 年 (1951 年) 社名を現在の青木電器工業株式会社に改称
- 昭和 25 年 (1950 年) 松下電器産業株式会社と提携。同社の専属工場としてNational
懐中電灯の製造を開始
- 昭和 23 年 (1948 年) 資本金 300 千円を以って株式会社ニチニチ電器製作所を設立。
『ニチニチ』懐中電灯及び、自転車ランプの製造販売を開始
- 大正 15 年 (1926 年) 金属雑貨「青木製作所」を設立。



昭和 10 年 青木電器製作所製品



昭和 49 年 懐中電灯製造ライン